

渡島英語教育研究会

『英語の授業で大切な
昔も今も変わらないこと(不易)』

厚真町立厚南中学校 大塚謙二

渡島英語教育研究会 今までありがとうございました。

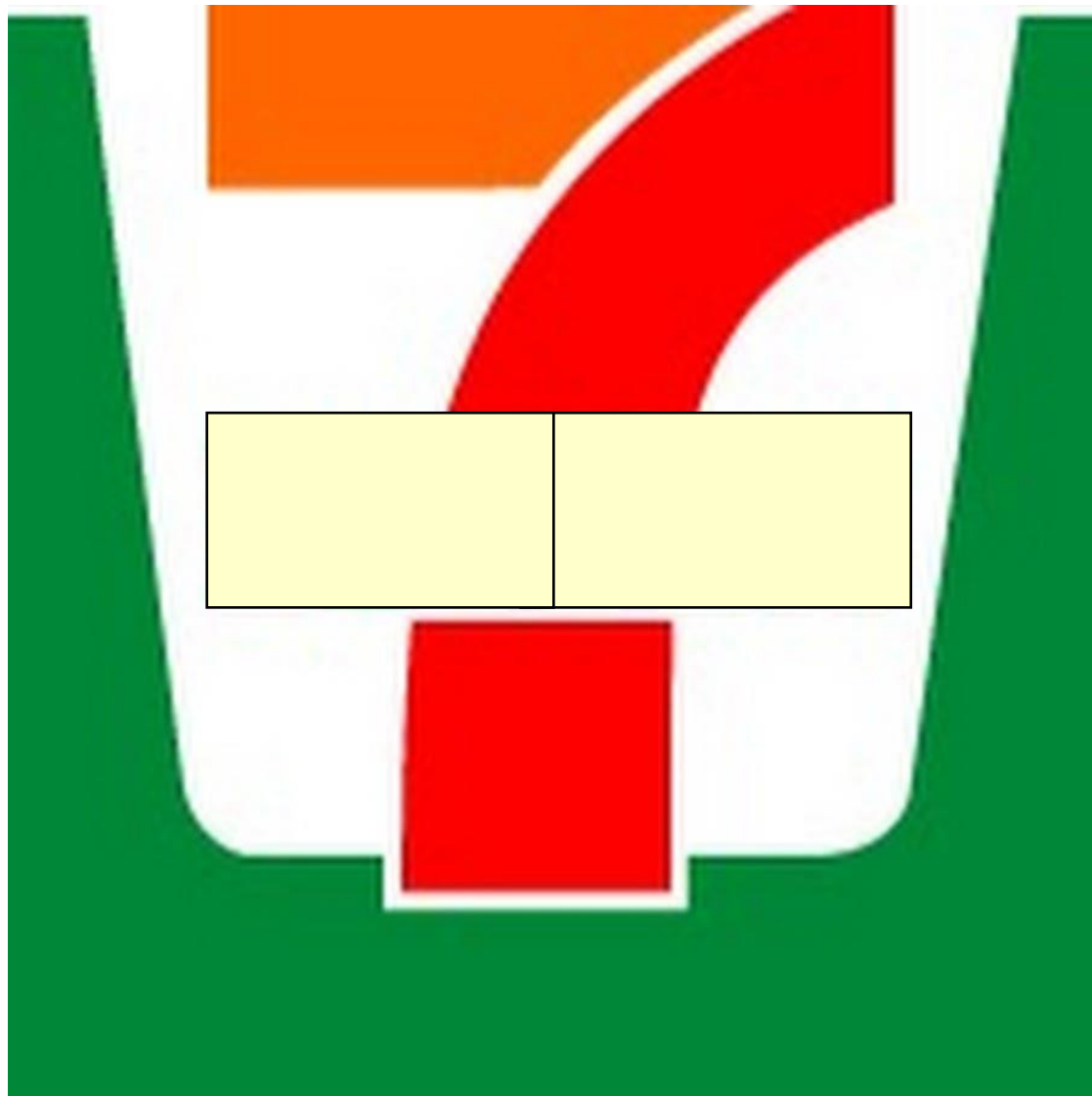
- 1 回目 2007 1/15
- 2 回目 2011 1/14
- 3 回目 2015 1/9
- 4 回目 2019 1/10
- 5 回目 2024 1/5 本日

渡島英語教育研究会

その前に 『英語の授業で今大切なこと』

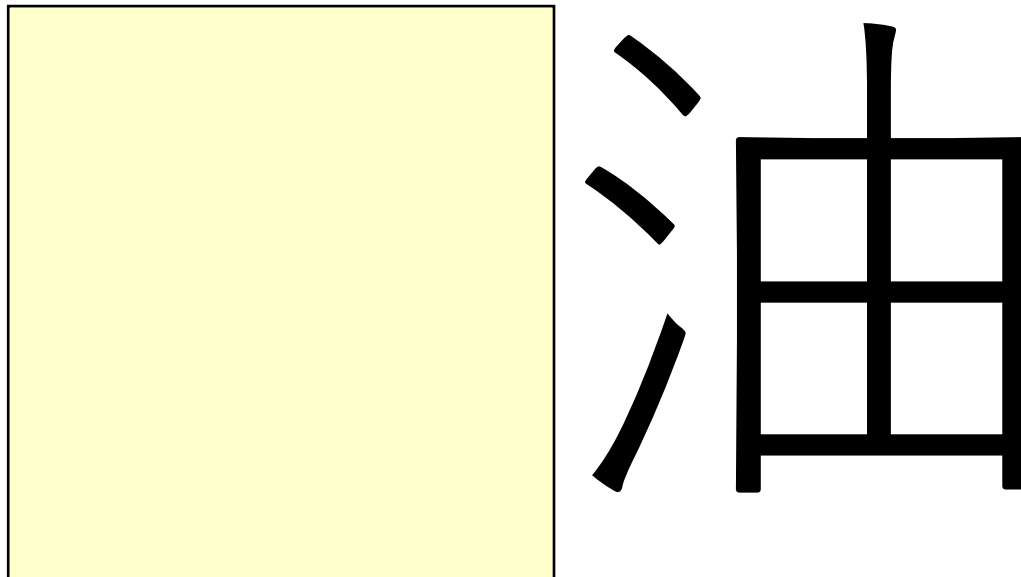
厚真町立厚南中学校 大塚謙二

青色の部分にはどんな文字で書かれている？



人は第一に意味に注目するが、言語形式にはなかなか注目しない

しよらゆ



技 : write in the air & write on the desk

Inputのpassive language knowledgeはOutputのactive L.K. は別物

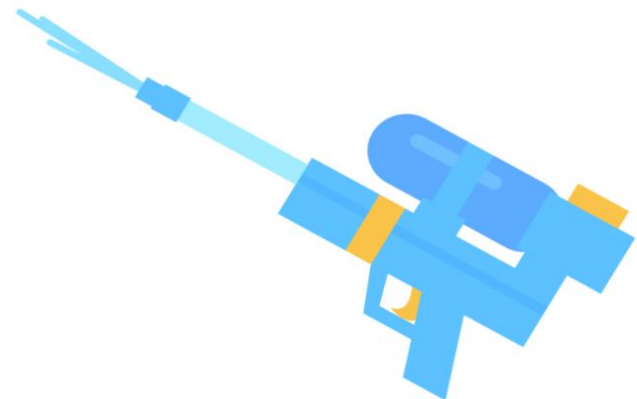
Input した知識

は output

させないと output
できるようにならない



毎時間



fluency: 即興スピーチ/chat

と

accuracy: 正確な英文

に

触れよう

sight translationのすすめ : **お助けsheet** [VTR](#)

chat/speech/small talk/retell への道

- [小6中1交流VTR](#)をご覧ください

★backward design : 一覧表

- 日常の足場掛け(scaffolding)ありのスピーチで、話す基礎を作るから入る。

スピーチのヒント（足場掛け）一覧へ

- 本文の暗記1年からが楽
- 書く活動へつなげる（テストで毎回出す）

友だち紹介

Hello, everyone.

I'm going to talk about my classmate.

Look at this picture.

This is ~ . He is from ~ .

He is / isn't ~ . He can / can't ~ .

He likes ~ . He doesn't ~ .

I think he is my good friend.

Thank you for listening.

部活紹介 (小中連携)

Hello, everyone.

I'm going to talk about JHS life.

Look at this picture.

This is the badminton team.

This is the captain, Mr.Mihara.

They practice from 3:30 to 5:20.

I think badminton is fun.

Thank you for listening.

My favorite person

I'd like to talk about

“My favorite teacher”

My favorite teacher is Mr. Katsumata.

He is a math teacher.

He is very friendly and funny.

He works very hard.

I like him.

Thank you for listening.

過去 Last weekend

話し始め I'd like to talk about last weekend.

1つめの話題 Topic

I went to Tomakomai on (last) Saturday.

その話題を詳しく

I went shopping at Aeon. I bought a CD.

I am a ONE OK fan.

感想，次回に向けて希望

The CD was very good. I like it very much.

つぎの話題へ after that

終わり Thank you for listening.

未来 this weekend

話し始め I' d like to talk about this weekend.

1つめの話題 Topic

I **will** go to Tomakomai this Saturday.

その話題を詳しく

I **want to** go shopping at Aeon.

I **want to** buy a CD.

I **am a** ONE OK fan.

感想，次回に向けて希望

The CD is good. I like it very much.

つぎの話題へ after that

終わり Thank you for listening.

My favorite season

I'd like to talk about "favorite season"

I like spring.

自分の考え

I have two points (reasons/things).

First, ~.

理由1, 詳しく

Second, ~.

理由2, 詳しく

In conclusion, ~

結論

Thank you for listening.

A Good Pet

**I'd like to talk about a good pet.
I think (that) a **cat** is a good pet.
I have two reasons.**

理由1

First, cats are very cute and they are not big like dogs.

詳しく

They don't like to walk. They like to sleep. I don't have to walk cats.

理由2 Second, they know about toilets.

詳しく So the house is clean.

**In conclusion, a cat is a good pet.
Thank you for listening.**

Dream trip

最初のあいさつ

I'm going to talk about my dream trip.

結論1 目的地発表 + 理由の数

I want to go to London. I have two reasons.

理由1

First, I want to see Big Ben. It's a tall clock tower.

理由2

Second, I want to visit the British Museum. I can see many old things there.

結論2 まとめ

**I think I can learn a lot in London.
Thank you.**

Eco friendly things

**I'd like to talk about “What
eco friendly things can I do?”**

I have three points.

First, ~

Second, ~

Third, ~

In conclusion, OO is ~

Thank you for listening.

Atsuma.PR speech

I' d like to talk about new ideas to make Atsuma better?

I want to build a road station.

I have three points / reasons.

First, ~

Second, ~

Third, ~

In conclusion, OO is ~

Thank you for listening.

chat/speech/small talk/retell への道

- **小6中1交流**VTRをご覧ください
 - ★backward design : 一覧表
- 日常の足場掛け(scaffolding)ありのスピーチで、話す基礎を作るから入る。
スピーチのヒント（足場掛け）一覧へ
- 本文の暗記1年からが楽 **back sight translation**
 - ★お助けシート配布
- 書く活動へつなげる（テストで毎回出す）

問9 Hello. I'm going to talk about my dream trip.

① I think you should go to Japan.

② You can see Mt. Fuji.

③ Mt. Fuji is the highest mountain in Japan.

④ It's very high and beautiful.

⑤ You're able to eat sushi.

⑥ You'll feel It is very ^{good} ~~much~~.

⑦ You can enjoy many animals

⑧ You ^ushold go to the Maruyama Zoo.

⑨ You can buy many things ^gat the shops.

⑩ I hope you'll have great time.

Thank you for listening.

正確さ: 文法、綴り 5点:0 4点:3つ以内 3点:4-6 2点:7-9 1点:10-12 0点:13≦

内容: 理解可能 2点: 正確にわかる 1点: 少し(1/3)不明な点がある 0点: (2/3)不明な点が多い

内容: 適切な構成 3点: 導入+展開+まとめ 2点: 導入+展開 1点: 導入 0点: 不明

意欲: 文の数 5点: 9/10文 4点: 8/7文 3点: 6/5文 2点: 4/3文 1点: 2/1文

79

正確さ: 文法、綴り 5点:0 4点:3つ以内 3点:4-6 2点:7-9 1点:10-12 0点:13≦

内容: 理解可能 2点: 正確にわかる 1点: 少し(1/3)不明な点がある 0点: (2/3)不明な点が多い

内容: 適切な構成 3点: 導入+展開+まとめ 2点: 導入+展開 1点: 導入 0点: 不明

意欲: 文の数 5点: 9/10文 4点: 8/7文 3点: 6/5文 2点: 4/3文 1点: 2/1文

総合力問題

あなたは自分の好きな季節(spring, summer, fall, winter)について学級でスピーチをします。より良い話す内容、話題の順番を意識して10文書いてください。

正確さ：文法、つづりミス

5点0 4点1-2 3点4-6 2点7-9 1点10 0点>10

内容：理解できる

2点正確にわかる 1点：かなり不明 0点不明

内容：適切な構成

3点：とても良い：事実+詳細+感想意見 2点：良い：事実+詳細

1点：まあまあ：事実 0点：良くない

意欲：適切な構成で理解可能な文の数

5点：10文 4点：9/8文 3点：7/6/5文 2点：4/3文 1点：2/1文 0点

※文の数の得点は内容の合計点を超えません

便利なAI活用 DeepLで英語力UP

①教師には：自分の英語に自信を持ってない時：英文添削

→ [DeepL](#)でチェック

I am a Japanese. I am Japanese. どっちが正解？

②生徒には：スピーチ作成の添削

③授業では：英語にしやすい日本語に言い換える練習

[中2クラスルームへ](#)

渡島英語教育研究会

『英語の授業で大切な
昔も今も変わらないこと(不易)』

厚真町立厚南中学校 大塚謙二

力を高めたい→記憶に残したい→ 暗記教科&使って表現する教科

① **授業規律・躰が全ての基礎になる**：負けない，個人撃破，初期対応

② **バランス良く指導する工夫**：偏らない

- ・ 4技能5領域+問題を解く力、演繹・帰納的（現在はinductive）
- ・ e.g. Speaking(質問，質問に対する答え，story telling)

③ **読み(話し) たく[4技能]なる工夫**：事前の発問，活動で高める

- ・ Pre- / Post- biomimicry, を工夫すると印象深くなる

④ **形を変えて繰り返す**：知識は孤立しているのでリンクさせる

- ・ 思い出させる場面を入れる工夫（授業の最初に前時の表現，英文を書く，

QAでプラスポイント） 違った活動同士がリンクする

⑤ **生徒を活発にしたい**：授業はつかみが大事

- ・ 元気に、活発に、堂々と、楽しく

→話しやすくなる、ミスしても許容される雰囲気

★それを実現する略案+教材、教具を必ず作成

Tips Quiz For ALT	animals	fruits & vegetables	people
3	3 points	3 points	3 points
5	5 points	5 points	5 points
7	7 points	7 points	7 points
9	9 points	9 points	9 points

1 sentence = 2 points / No gestures and No Japanese.

Clipboard | Slides | Font

セキュリティリスク このファイルのソースが信頼できないため、Microsoft によりマクロの実行がブロックされました。 詳細を表示

1	Red	Green	Yellow
2	Red	Green	Yellow
3	Red	Green	Yellow
5	Red	Green	Yellow

が で た ら 自 作 ク イズ	animals	charactors	people
1	Red	Green	Yellow
2	Red	Green	Yellow
	Red	Green	Yellow

Clipboard | Slides | Font

セキュリティリスク このファイルのソースが信頼できないため、Microsoft によりマクロの実行がブロックされました。 詳細を表示

1

が で た ら 自 作 ク イズ	animals	charactors	people
1	Red	Green	Yellow
2	Red	Green	Yellow

パネルクイズ例 (1)のプロパティ

全般 セキュリティ 詳細 以前のバージョン



パネルクイズ例 (1)

ファイルの種類: Microsoft PowerPoint マクロ有効プレゼンテーション (.pptm)

プログラム: PowerPoint

変更(C)...

場所: C:\Users\copen\copen3\Documents\8.セミナー\RS\日誌

サイズ: 1.48 MB (1,561,725 バイト)

ディスク上のサイズ: 1.49 MB (1,564,672 バイト)

作成日時: 2023年10月15日、9:17:27

更新日時: 2023年10月15日、9:17:28

アクセス日時: 2023年10月15日、9:19:38

属性: 読み取り専用(R) 隠しファイル(H) 詳細設定(D)...

セキュリティ: このファイルは他のコンピューターから取得したものです。このコンピューターを保護するため、このファイルへのアクセスはブロックされる可能性があります。 許可する(K)

OK

キャンセル

適用(A)

パネルクイズ例 (1)のプロパティ

全般 セキュリティ 詳細 以前のバージョン



パネルクイズ例 (1)

ファイルの種類: Microsoft PowerPoint マクロ有効プレゼンテーション (.pptm)

プログラム: PowerPoint

変更(C)...

場所: C:\Users\copen\copen3\Documents\8.セミナー\RS\日誌

サイズ: 1.48 MB (1,561,725 バイト)

ディスク上のサイズ: 1.49 MB (1,564,672 バイト)

作成日時: 2023年10月15日、9:17:27

更新日時: 2023年10月15日、9:17:28

アクセス日時: 2023年10月15日、9:19:38

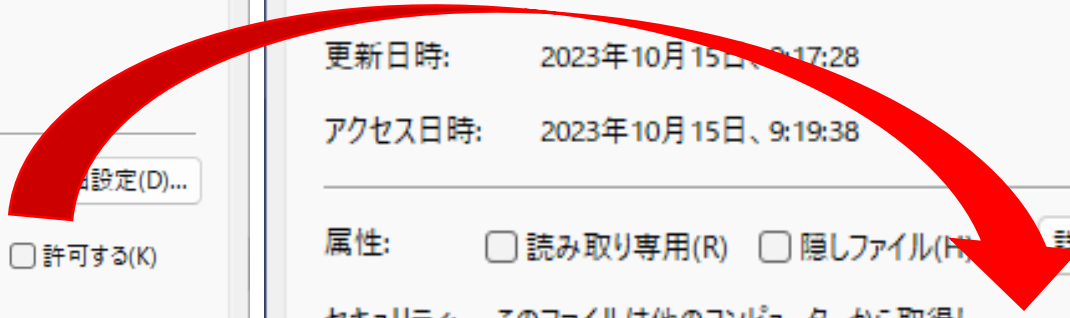
属性: 読み取り専用(R) 隠しファイル(H) 詳細設定(D)...

セキュリティ: このファイルは他のコンピューターから取得したものです。このコンピューターを保護するため、このファイルへのアクセスはブロックされる可能性があります。 許可する(K)

OK

キャンセル

適用(A)



小 (中) 学校で大切なこと

- アルファベット • ローマ字 • フォニックス
- 学習形態
- 対話ゲームを失敗させないコツ
- Classroom English
- 中学校で感じる新1年生のこと

中 (小) 学校で大切なこと

- Warm-Up • 勉強のノウハウを指導し定着させる
- 宿題 • 文法の導入 • 知識を定着させる方法
- 思い出す場面の設定 • 即興力UP • 文法指導の例
- 語順指導 • 単語指導 ICT • 本文指導 • ICT

小（中）学校で大切なこと

- アルファベット
- ローマ字
- フォニックス
- 学習形態
- 対話ゲームを失敗させないコツ
- Classroom English
- 中学校で感じる新1年生のこと

アルファベット 指導上の注意点

- 気をつけよう 最初からの発音

A	C	F	H	J		
エイ	スイー	エフ	エイチ	ジェイ		
K	L	M	N	O	R	V
ケイ	エル	エム	エン	オウ	アール	ヴィー

- よく書き間違えるアルファベット

bの書き方 / dの書き方 / LMNの順番

特に注意:h n r v



- ※順番通りに歌やチャンツで覚えるデメリット (数字、曜日、月) ★papaya juice

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

ローマ字

- 小学校でローマ字が苦手な生徒は、その後の英語学習では伸びない生徒が多い。
（英語学力差はどこから生じるのか—入門期のドキュメント（英語指導法叢書）単行本 -柳瀬 他1988/7/1）
- 3年生で訓令式を学習し、5年生6年生でヘボン式に移行させる
- 氏名はパスポートに合わせると良い
（化石化は下位の生徒は強い）

フォニックス①

小中連携フォニックスの指導方法からの単語書ける指導

小学校：フォニックスの基礎

- ・ 有声音と無声音に注意(無い母音を発音させない) s,es の発音へ

c f h j k l p q t **小中教科書**

ビデオで発音確認

- ・ 2つの音があるフォニックスの基本の音 **A C E G I O U**

フォニックス練習の段階

- ① 単語と文字を見て発音できる

aa ant / aa angel / bb bear . . .

- ② アルファベットの文字単体で発音できる

ペア練習・協力

a b c d e f g

h i j k l m n

o p q r s t u

v w x y z

中学校からは

③発音しながら書く練習ができる

aaa aaa bbb ccc ccc ddd eee eee fff

④教師の発音する音を聞いて書ける

⑤音の足し算で読んだり書いたりできる

⑥未習の単語を読ませる

⑦単語を覚えて書く特別練習を30分する

⑧新語導入時に、未知語を発音させてチャレンジさせる、
空書き練習をする

★発音チャレンジ gogle doc + 音声入力 で楽しく

・地域による単語テストの必要性：

そのあり方と**お助けシート活用**の理由

学習形態 を目的に応じて使い分けよう

①**発表活動がゴールなら** 緊張度：個→ペア→グループ→全体
立って練習が基本 壁練習 サークル練習 (自己紹介などのパフォーマンス活動)

②**即興の発話**

ペア いきなり即興ができない時 日本語→英語 でペアで協力する

③**全員にしっかり考えさせる 大塚式ジャンケン**

[winners(じゃんけんの前に) / losers(どちらかを叫ぶ)]

(教師が) Rock, paper(言う), / (生徒が)scissors, Shoot(言う)!

[winners(じゃんけんの前に) / losers(どちらかを叫ぶ)]

Pairs (Group) Race

- 生徒を活発にし，形を変えて反復する活動
 - **数字，曜日，月，学習した単語のピクチャーカード**を黒板やスクリーンに提示し
ペアで交互に言う
 - 終わった生徒は，手を上げて
We are finished. と元気よく叫ぶ。
- ※グループの方が責任は分散。



学習につながらないゲーム：注意は何に向く？

①単なる暗記ゲーム

A:I like apples.

B:I like apples and oranges.

C:I like apples, oranges and cake.

- ・生徒が注意を払うのは文型ではなく物を覚えることに集中する。
- ・小学生で単語暗記、楽しむための時間ならOKだが、中学校では微妙。

ゲーム・対話活動・タスク・自己表現活動を失敗させない

言語活動・ゲーム うまくいかない原因

- ①使用する英文の練習不足
- ②ルールがわかっていない
- ③日本語を使っている
- ④生徒のレベルに合っていない（簡単すぎ、難しすぎ）

活発なやり取り活動、英語ゲーム成功の秘訣

- ①ヒントを出しておき全レベルの生徒が参加できるようにする
- ②ルールがシンプル・わかりやすい
- ③ポイントがたまる
- ④ゲーム性がある：生徒の英語レベルに関係せず運によって左右される（勝者が決まった生徒にならない）

◆大塚式言語活動ゲームの実際：使用するもの 紙、ペン、ヒントを表示する物 エスパーゲーム



国語



社会



数学

Japanese

social studies

math

勝: Do you want to study English hard?

負: Yes. I want to study English hard.

1回	○	5点
2回	○	3点
3回	○	1点
3回	×	

負: No, I don't.

✖ 勝: What subject do you want to study hard?

負: I want to study math hard.



英語

English



習字

calligraphy



理科

science

eat / sushi



read / a manga



drink / water



勝: Do you have **anything** to eat?

負: Yes, I do. I have **sushi**.

- 1回目 ○ 5点
- 2回目 ○ 3点
- 3回目 ○ 1点
- 3回目 ✖

負: No, I don't. I don't have **anything** to eat.

✖ 勝: What do you have?

負: I have **something** to drink. I have **water**.

play / UNO



Write with / a pen



Classroom English をたくさん使おう

• 文科省 クラスルームイングリッシュ で検索

①まず、指示は英語でしょう
(指示は定着しやすい)

②授業最初のスモールトークを英語にしよう
(日常の出来事は平易な英語)

③授業最初のスモールトークに生徒を巻き込もう
Which do you like better, A or B?
bento-school lunch, summer-winter,
western sweets-Japanese sweets

中学校で感じる新1年生のこと

- 宿題の提出をきちんとできる学級とそうでない学級の存在
- なんでもYes, I do.で答える生徒が多い。
なんでもI'mで言い始める生徒が多い。
- アルファベットを書ける生徒が増えた。
LMNでつまずく生徒が減った。
- あいさつ、自己紹介をスラスラできる生徒が増えた。
- 知っている単語の数が増えた。

中（小）学校で大切なこと

- Warm-Up
- 勉強のノウハウを指導し定着させる
- 宿題
- 文法の導入
- 知識を定着させる方法
- 思い出す場面の設定
- 即興力UP
- 文法指導の例
- 語順指導
- 単語指導 ICT
- 本文指導
- ICT

Warm-Up

- 単なる準備体操ではない。その1時間を左右する流れを作る。
- ウォーミングアップ：声を出させる、生徒を活発にして集中力を高める。（発声練習、歌）
- 前時の復習：前時に学習した内容を思い出させる活動。（前時の文法表現、英文、単語）
- 総合力を高める：既習事項を使って、即興力を高める活動。（Q&A / speech / chat）

• VTR

勉強のノウハウを指導し定着させる

1年生は小学校英語のままでいいと思っている

- ①**単語の覚え方**：フォニックスとローマ字を組み合わせる：
friend, Wed/nes/day, Feb/ru/ary
- ②**文法学習の方法**：ワークを3回， → 単元テスト → 期末テスト
- ③**本文学習の方法**：お助けシート → (単語テスト) →
sight translation(1年全本文, 23年抽出) → 文テスト → 期末テスト
- ④**聞く力UPのコツ**：英語を英語で理解すると速く読む聞く可能、音読多め、読めないものは聞く書く不可能
- ⑤**テスト点数UPのコツ**：副教材の問題を必ず解く、問題に慣れる、過去問の活用
- ⑥**英文をスラスラ読めるコツ**：苦手な生徒は1文だけ見せる。なぞり読み。なるべく前から意味を取り、変なら後ろから
- ⑦**英語で表現するときのコツ**：長いまわりくどい表現をやめ、短い文、単文、言い換えて簡単な和文

宿題 (大塚の場合)

ワーク・お助けシート

お助けシート配布

- 学校で必ず少しやる (やり方がわかる) →
- 残りを宿題にする (やってるからやり易い) →
- 生徒の学習状況を確認し、最後までやらせる **名簿**

- ※絶対にさせなければならない宿題は絶対に提出させる習慣化を図る。きちんとチェックする。
- M蘭0谷のF先生の実践

お助けシート

No	お助けシート	試合											合計					
		1-Scans	1-1	1-2	1-Scans	2	2-1	2-2	6/5 W.H/2 7/20	6/13	6/20 Scans + impact	6/23	7/4	O.P.	4 Scans	9/6 4-1	9/15 4-2	PU2
1		⊗	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
2		⊗	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
3		○	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
4		⊗	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
5		○	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
6		⊗	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
7		⊗	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
8		⊗	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9		⊗	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11		⊗	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12		⊗	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13																		
14		⊗	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15		⊗	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16		⊗	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18		⊗	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19		⊗	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20		⊗	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

work

ページ数	試合																																	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1	津	[Red lines]																																
2	荒	[Red lines]																																
3	石	[Red lines]																																
4	石	[Red lines]																																
5	石	[Red lines]																																
6	岡	[Red lines]																																
7	津	[Red lines]																																
8	北	[Red lines]																																
9	工	[Red lines]																																
10	小	[Red lines]																																
11	小	[Red lines]																																
12	鈴	[Red lines]																																
13	山	[Red lines]																																
14	山	[Red lines]																																
15	館	[Red lines]																																
16	藤	[Red lines]																																
17	津	[Red lines]																																
18	津	[Red lines]																																
19	山	[Red lines]																																
20	山	[Red lines]																																

work

ページ数	試合																																	
	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
1	津	[Red lines]																																
2	津	[Red lines]																																
3	石	[Red lines]																																
4	石	[Red lines]																																
5	岡	[Red lines]																																
6	津	[Red lines]																																
7	津	[Red lines]																																
8	北	[Red lines]																																
9	工	[Red lines]																																
10	小	[Red lines]																																
11	小	[Red lines]																																
12	鈴	[Red lines]																																
13	山	[Red lines]																																
14	山	[Red lines]																																
15	館	[Red lines]																																
16	藤	[Red lines]																																
17	津	[Red lines]																																
18	津	[Red lines]																																
19	山	[Red lines]																																
20	山	[Red lines]																																

文法の導入

Scenesの導入方法

- 教え順：文法-文法-文法-本文-本文-本文のススメ
- Scenesの導入方法 **デジタル教科書3年P1**
音声のみ→音声+映像→音声+映像+字幕→通訳
- 効果的な対話活動ゲームのタイミング
→翌日(定着時間・思い出させる場面を意識的に作る)
- 文法の知識は独立した知識で繋がっていない。
だから、発話でつなげるチャンスをつくる

知識を定着させる方法

- **反復**：同じ反復/形や方法を変えた反復
- **印象深く**：体験・映像 / 気づき, 発見・感動 / 幸運・夢中 / 苦労・達成感

※聞いたことは忘れ, 見たことは覚え,
体験したことは忘れない!

• **文法・本文** 学習の

事前：興味を高める工夫 発問：通学路の困りごとは？

途中：気づき 文法表現をマ-キング 本文通訳

事後に：感動 ジャクソンの夢は する物を入れる

思い出す場面・活動の設定

(spaced repetition / 同じことの繰り返し・違う方法で繰り返し)

warm upで前時のことを思い出させる

① **writing**: 前時に重点的に練習したターゲットの英文を書かせて思い出させる。

② **one minute of speaking**: 前時の文法事項を使えるようなtopicを選ぶが、使えなくてもOK

即興力/表現力UP

(既習の語彙、定型表現[文、句])

- 足場かけ：modelのインプット、モデル文（ヒント）提示、発話の繰り返し
- 既習事項などを表示して 1～2分話す。難しいトピックは日本語で話してから英語で話す。（ペアで助け合える）
- 日常の簡単なニュースを使った日本語の言い換え練習（deepL併用）

I' d like to talk about
my favorite season.

I like summer the best.

I have three reasons.

First, ~

Second, ~

Third, ~

Thank you for listening.

文法指導の具体例

1年生は身体で教え、2年生（中期）から頭で教えてもよい

1. **ガル外系：文の塊を意味と共に覚えて言えるようにする**

→文法を教える→発話練習→自己表現活動

例①カラダで教える3単元のS：

4月から指導し、10月に完結する3単元のSの指導

例②カラダで教える this that / these those

例③カラダで教える人称代名詞

This is my pen. / Mine. / I love me.

※I my me mine は使えない知識

文法指導の具体例

1年生は身体で教え、2年生（中期）から頭で教えてもよい

2. 文法訳読系：文法を教える

→英文を意味と共に言えるように練習→発話練習→自己表現活動

例①意味・日本語から導入したほうが気づく文法

「私のケーキは母に食べられます。」ってどう言うと思う？

※対話で意味を推測し、作り方を発見した時：ふーんそうなんだー。

※My cake eat my mother. → My cake **is eaten** by my mother.

へーそうなんだー。になる。 わかりやすい、定着し易いを考えて
演繹・帰納を選択する！

例②Howの導入

「みんなの知ってるHowの英文を教えて！」

How are you? How is the weather today?

How many pens do you have? How old ~? How much ~?

語順指導

は常に**黒板に掲示**（英語の表現力UP）

- 中学生は主語をつけないので、意識的につけるように語順を掲示
- 主語・動詞・**どい**さんルールの確認
- One Sentence Writing ウォームアップでノーヒント（思い出させる場面を意識的につくる）

語彙指導

ICT vs フラッシュカード

やっぱり紙がいいかな？生徒も、、、

- ①フラッシュさせる
- ②ゆっくりスタート、徐々に素早くすると集中する
- ③ゴール：発音できる、読める、日本語を見て英語が言える、意味が言える

※おススメ：定着するタイパの良い方法：

英和4回読み→和英4回読み

本文指導

- **本文ざっくり確認** 音声のみ→アニメ付き→字幕付き
1年6-2
- **デジタル教科書で本文練習**
全体練習はスクリーン→ナリナリ→間隔長:2回→音無し3回
個別練習は生徒用端末 + 100均イヤフォン
- **Question Making** 1年6-2
 - ①グループ: ホワイトボードに記入
 - ②個人: PC使用 padlet, jamboard
- **Retell** →
 - ①**和英sight translation (オススメ)**
 - ②教科書で主語変換練習
 - ③和訳, 教科書英文チラ見

ICT

①音読テスト ビデオ提出

×切は21時～22時 ロが見える ズルをしてもわかる

②発音チャレンジ

google音声入力 + google document使用

③accel flip

④デジタル教科書教師用

Scenesの指導方法、Think、単語

⑤Padlet

※CBT 翻訳ソフト，入カアシストがあるので不向き

デジタル教科書教師用

Scenesの指導方法、Think、単語

- ①聞かせる（聞こえることで内容予想）
- ②内容について，質問して聞かせる（焦点化）
- ③教科書を読ませて確認
- ④新出語彙練習
- ⑤動画付きで見せる
- ⑥動画＋字幕で見せて，生徒は通訳する

デジタル教科書生徒用

- ①既習文法の文章をみつけてマークする
- ②英文の意味を確認
- ③和訳を表示
- ④ターゲットの文法をマスキング
- ⑤英文を言う練習

完

外国語学習の基礎的知識は？



1

語彙化された定型表現（句）（文）



2



3

発話：2つの側面

•Accuracy 正確さ

•Fluency 流暢さ

※授業でバランスを意識しているか

•何で？ どう？ 正確な英語を学ぶのか

⇒教科書、フィードバック、英語を書く

•何で？ どう？ 流暢さを学ぶのか

⇒即興speaking活動 (メモ：brain storming で planning)

言語の
下記の



現のプロセスは
組み合わせている

単語と文法を
組み合わせて
表現・理解

**Rule-based
processing**

単語+文法を組
み合わせて処理
計算処理

短所：脳の負荷が高い

長所：知ってる知識でどんな文章でも作れ
る。知識量が少なくて済む

**Exemplar-based
processing**

文章丸ごと意
味的に処理
マッチング処理

長所：脳の負荷が低い

短所：使用できる場面が限定される

大量の定型文を覚えなければダメ

句、節、文の
音の塊と意味で
表現・理解

Rule-based

で発話した文は

Exemplar

になるだろう

Peter Skehan 1998